

# 数理生物学演習

第13回 最終課題発表会

野下 浩司 (Noshita, Koji)

✉ noshita@morphometrics.jp

🏠 <https://koji.noshita.net>

理学研究院 数理生物学研究室

# 第13回：最終課題発表会

## 本日の目標

- 研究に関するプレゼンテーション
- 他の研究者の発表を聞き、コメントする

# 最終課題発表会

第13回（予定）に実施

- 1～6名でチームを組んで取り組む
- メンバーの一人の内容について  
最終課題への取り組み方（テーマ，背景，どんなモデル，  
解析で取り組むか，（+期待される結果））の紹介・説明  
（仮でOK！）
- スライド5～7ページにまとめて，5分以内でプレゼン
- スライドの1ページ目はタイトルとチーム名及びメンバー  
の一覧必須

対面で実施。

チームメンバー全員前に出て，スライド使って，プレゼン。

Slackで来た質問にも回答できるとGood。

みんな一言ぐらいは喋ってね。

# 第13回の課題

1. 最終課題発表会で使用したスライド pdf化して，他の内容と一緒に提出
2. 他の発表者の内容についてのコメント  
それぞれの発表について，発表者のチーム名とそれに対する意見，質問などを記入.
- ハード 3. Slackにて1回以上，発表者に質問する.
- ハード 4. Slackできた質問に1回以上回答する.
5. 質問，意見，要望等.

# 今後の予定

- **7月31日 第14回 数理生物学は役に立つのか？（3）：機械学習，画像解析，研究紹介，数理生物学でのプログラミング**
- **8月18日 最終課題提出期限**

# 最終課題

- 数理生物学的なテーマを設定し
- 計算機を使ったアプローチで取り組み
- レポートにまとめる

**ノーマルとハードのいずれかを選択**

**提出締切：2023年8月19日（月）**

**課題をPDFファイルにまとめて、Moodleにて提出すること**

# ノーマル

- IMRAD形式でレポートにまとめる
  - イントロダクション：論文を2本以上引用し，取り組むテーマについて説明する
  - マテリアル&メソッド：イントロダクションを踏まえ，レポート内で実施する解析・シミュレーションを説明する．参考にした文献について適宜引用する．
  - 結果：解析・シミュレーションの結果をまとめる．
  - 議論：結果を解釈し，先行研究と比較して考察する．
  - 参考文献：少なくとも3本以上
  - 適宜，図表を用いる．
- 参考文献として読んだ論文から1本以上を選び，テンプレートに従いまとめる

# ハード

- IMRAD形式でレポートにまとめる
  - イントロダクション：論文を4本以上引用し，取り組むテーマについて説明する
  - マテリアル&メソッド：イントロダクションを踏まえ，レポート内で実施する解析・シミュレーションを説明する．参考にした文献について適宜引用する．
  - 結果：解析・シミュレーションの結果をまとめる．
  - 議論：結果を解釈し，先行研究と比較して考察する．
  - 参考文献：少なくとも6本以上
  - 適宜，図表を用いる．
- 参考文献として読んだ論文から3本以上を選び，それぞれテンプレートに従いまとめる



# 論文の構成

- **Title** : 論文の題名 (大体40words以下)
- **Abstract 要旨** : 論文の要約 (大体400words以下)
- **Introduction 序論** : 論文の意義づけ, 主張, 新規性, 重要性, 必要性.
- **Materials & Methods 方法** : どうやってResultsを得たか? (なぜResultsが信頼できる?)
- **Results 結果** : 論文のメッセージを支える事実
- **Discussion 議論** : 主張, 論文のメッセージ, なぜResultsから論文のメッセージを主張できるか?
- **References 引用文献** : 引用文献のリスト

この形式をIMRAD (Introduction, Methods, Results and Discussion) という。  
基本はIMRAD形式だが, 分野や雑誌によってスタイルが異なる。

**(引用元を示さない) コピペはやめよう。  
「盗用」という不正行為です。**

課題に (Webあるいは他者からの) 画像や文章のコピペはダメ。

これらは不正行為にあたります。絶対にやめてください。

何かの例や参考として画像や文章を利用したい場合は適切に引用しましょう。